

2015 年 9 月 30 日

## 第 46 回「博報賞」受賞者決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 46 回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

今年度は団体 10 件、個人 6 件、合計 16 件の「博報賞」が選出されました。「博報賞」の贈呈式は、11 月 6 日(金)午後 4 時より、日本工業倶楽部(東京都千代田区)にて行われます。

### ■当事業の目的

当事業は、児童・生徒の「豊かな人間性育成」に尽力されている学校・団体・教育実践者の顕彰を通して、児童教育の現場を支援することを目的としています。

### ■賞の内容

「国語・日本語教育部門」「特別支援教育部門」「日本文化理解教育部門」「国際文化理解教育部門」「教育活性化部門」の 5 部門が贈呈対象であり、教育委員会、学識経験者など第三者から推薦された候補者の中から、審査会(委員長:四日市 章 筑波大学名誉教授)において審議決定されます。

受賞者には、賞状と副賞金(100 万円)が贈られます。また、受賞者の中から特に奨励に値するものとして「文部科学大臣奨励賞」が贈られます。

### ■今年度の受賞者

今年度は「国語・日本語教育部門」1 件、「特別支援教育部門」6 件、「日本文化理解教育部門」2 件、「国際文化理解教育部門」2 件、「教育活性化部門」5 件、合わせて 16 件に「博報賞」が贈呈されます。文部科学大臣奨励賞は 4 件に贈られます。各部門の受賞者は次ページをご覧ください。

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェローシップ」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

### ■本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会  
博報賞担当  
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016  
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

2015 年 9 月 30 日

## 第 46 回博報賞受賞者一覧

### 国語・日本語教育部門：1 件

新潟県	佐渡市立羽茂小学校	かかわり合いながら伝える力を高める子どもの育成
-----	-----------	-------------------------

### 特別支援教育部門：6 件

神奈川県	神奈川県立秦野養護学校 院内学級「かもめ学級」★	高次脳機能障害の子どもたちの支援～ガイドブック作成と活用～
京都府	京都府立八幡支援学校	共生社会の形成に貢献する「交流及び共同学習」の実践
静岡県	夏目徹也	子どもを取りまく学校・園・地域とともに特別支援教育の推進
愛知県	南 寿樹	世界初の肢体不自由児者の人形劇団創設と自立支援活動
奈良県	今西満子	LD 等の発達障害通級対象児への教育的支援
岡山県	吉田英生	通級による指導実践と「特別支援教育推進センター」づくり

### 日本文化理解教育部門：2 件

新潟県	柏崎市立高柳小学校	伝統文化の体験を通じた、ふるさとを愛する子どもの育成
滋賀県	彦根市立城西小学校★	地域に学び、自己実現を目指す系統的学習の展開

### 国際文化理解教育部門：2 件

愛知県	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室	外国人児童生徒への学校生活適応・日本語指導のあり方
沖縄県	平良 優 ★	小学校学級担任が行う外国語活動の価値の追究

### 教育活性化部門：5 件

秋田県	大館市教育研究所	子どもと仕事・地域・未来をつなぐ「子どもハローワーク」
新潟県	胎内市立中条小学校	地域と協働し、ふるさとへの思いを高める子どもの育成
香川県	高松市立屋島小学校	屋島未来フロントランナーを目指す総合的な学習の展開
高知県	高知市教育シニア・ネットワーク★	退職教職員による地域の教育力向上と学校教育への支援
北海道	高橋 慎	自然環境保全再生の町民活動とふるさとの教育づくり

★印は博報賞にあわせて文部科学大臣奨励賞受賞